

1 . NIPPON DATA2010 追跡委員会

ND2010 追跡委員会

- 研究分担者 門田 文 (滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任准教授)
- 研究分担者 大久保孝義 (帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授)
- 研究分担者 岡村 智教 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 教授)
- 研究分担者 中川 秀昭 (金沢医科大学総合医学研究所 嘱託教授)
- 研究協力者 中村 好一 (自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 教授)
- 研究分担者 宮松 直美 (滋賀医科大学看護学科臨床看護学講座 教授)
- 研究協力者 斎藤 祥乃 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 大学院生)

事務局

- 研究協力者 近藤 慶子 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 特任助教)
- 研究協力者 鈴木仙太郎 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 大学院生)
- 研究協力者 佐藤 敦 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 大学院生)
- 研究協力者 伊藤 隆洋 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 大学院生)
- 研究協力者 鈴木 春満 (滋賀医科大学リーディング大学院 大学院生)
- 研究協力者 岡見 雪子 (滋賀医科大学リーディング大学院 大学院生) 他

1 . 平成 28 年度の活動

平成 28 年は、昨年実施した第 5 回の健康調査の実施、回収数の確定、第 6 回の健康調査を行った。また、初年度以降実施している医療機関への二次問い合わせを継続、また、イベント判定委員会の求めに応じて医療機関への追加情報の問い合わせを実施した。住民票請求を利用した生命予後追跡(5年目)を実施した。これまでの健康調査、住民票請求にて判明した死亡者について人口動態統計請求による死因確定を行う。

2 . 平成 27 年度調査最終報告

(1) 第 5 回(2015 年)発症追跡調査

- 1 . 目的：発症追跡対象者の発症の確認
- 2 . 調査対象：調査票発送数 2505 人
(第 4 回調査から死亡：18 件・拒否：17 件を除いた数)
- 3 . 調査内容：70 歳未満(例年どおり)70 歳以上(例年 + ADL・IADL 調査)
- 4 . 調査票初回郵送 平成 27 年 10 月 1 日 ~ 10 月 31 日
- 5 . 調査手順：調査票の郵送
未回収の場合は 3 週間毎にリマインダー葉書郵送 調査票再送 電話による聞き取り 宅配

調査結果：平成 28 年 3 月 25 日【確定】

	発送数	回収数(率)	回収率 累計
調査票郵送	2501 確	1840(73.5%)	73.5%
リマインダー葉書送付	630 確	304 (48.3%)	85.7%
調査票再送	283 確	94 (33.2%)	89.4%
電話による聞き取り等	240 確	201 (83.8%)	97.5%
調査票宅配	51 確	8 (15.7%)	97.8%
合計回収数		2447 (97.8%)	97.8%

死亡:23 件
 次年度以降拒否希望：調査終了確定 17 件
 翌年度調査対象者数(確定): 2464

70 歳未満：1436/1470 (97.7%)
70 歳以上：1011/1031 (98.1%)

(2) 調査対象者数の推移

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	
対象者数	2664	2662	2639	2600	2540	2505	
(海外転出等)				(8)	(4)	(4)	
郵送調査対象者数		2662	2639	2592	2536	2501	
回収率		98.3	98.6	98.0	98.2	97.8	累計
追跡終了者数	2	23	39	60	35	41	200
(死亡)	(2)	(12)	(19)	(19)	(18)	(23)	(93)
(追跡拒否)		(11)	(20)	(41)	(17)	(17)	(106)
(その他)						(1) *	(1)

* 2015 職権消除 1

3 . 平成 28 年度調査状況

(1) 第 6 回(2016 年)発症追跡調査

- 1 . 目的：発症追跡対象者の発症の確認
- 2 . 調査対象：調査票発送数 2460 人
 (第 5 回調査から死亡：23 件・拒否：17 件・職権消除 1 件、海外転出中 4 を除いた数)
- 3 . 調査内容：例年どおり
- 4 . 調査票初回郵送 平成 28 年 10 月 1 日～10 月 31 日
- 5 . 調査手順：調査票の郵送
 未回収の場合は 3 週間毎にリマインダー葉書郵送 調査票再送 電話による聞き取り 宅配

6. 調査準備：

- ND 通信 (伊藤・岡見・山内・宮川・近藤・門田)
- 調査手順マニュアル改訂 (鈴木仙・佐藤・炭・伊藤・鈴木春・岡見・近藤・門田)
- 調査票作成 (例年どおり)
- ファイルメーカー準備 (吉田・船木・島村・高嶋)

7. 調査実務：

- 鈴木仙・佐藤・伊藤・鈴木春・岡見・設楽・山内・瀬川・志摩・布施・炭・渋川・岩瀬・藤吉奈
- 吉田・船木・近藤・門田

回収状況：平成 29 年 1 月 31 日時点

	発送数	回収数(率)	回収数(率)累計
調査票郵送	2460 確	1687(68.6%)	1687(68.6%)
リマインダー葉書送付	645 確	295(45.7%)	1982(80.6%)
調査票再送	299 確	93(31.1%)	2075(84.3%)
電話による聞き取り等	359 確	302(84.1%)	2377(96.6%)
調査票宅配	41 確	14(34.1%)	2391(97.2%)
合計回収数		2391	2391(97.2%)

死亡:38 件

次年度以降拒否希望:50 件 健康調査終了確定 15 件

郵送 2460 件はききとり希望者 140 件を含む(20 件は返信あり)

平成 29 年 1 月 31 日時点で明らかになった死亡者数は累計 131 件である。

4. 住民票請求による生命予後 5 年追跡結果

生命予後追跡の同意者 2711 名から、2011 年調査時の死亡 2 名、不明 1 名、職権消除 1 名を除く 2707 名

死亡が確認できた者について、引き続いて人口動態統計による死因確認を行う。

	人数	%
生存在籍	2374	87.7
転出在籍	208	7.7
死亡	119	4.4
不明	0	0
海外転出	6	0.2
合計	2707	100%

生死を確認できた者：2701 名
追跡率：99%

5. 医療機関への二次問い合わせ

引き続き、平成 27 年度、28 年度発症調査の自己申告結果に基づき、糖尿病、脳卒中、心疾患の新規発症が疑われる症例について、医療機関への二次問い合わせを実施した。未回収分は電話による調査票の返送依頼を繰り返し行う。

また、平成 23 年から 25 年度調査で得た発症疑い症例のうち、イベント判定委員会が追加情報を求めたものについて追加の問い合わせを行い、その結果をイベント判定委員会に提出した。イベント判定委員会と共同で心疾患および脳卒中の二次調査票の改訂を行った。

6. まとめ

平成 22 年に全国多数の地区で実施した研究班調査「循環器病の予防に関する調査 (NIPPON DATA 2010)」参加者を対象に第 6 回の発症調査を実施した。調査対象者には半年に一度通信を発送して、本研究から得られた知見を紹介し、本研究の社会的意義を伝えている。これによって好意的なコメントが調査票の自由記載欄に寄せられている。その一方で、調査票の郵送では回収できず、電話によるコンタクトを必要とする件数も 300 件以上と多く、勤労者層は昼間連絡のとれない方も多い。これらの年齢層には WEB 登録等、セキュリティーの確保が必須ではあるが時勢に応じた調査方法の検討も必要である。高齢や煩わしさを理由とした調査の継続拒否も散見される。全国に散在する対象者の協力意思をどのように継続するか、が最大の課題である。今後も本研究の意義を対象者個人に、またメディアを通じて社会的にアピールすることが必要である。医療機関への二次問い合わせについては協力率を高めるため、医師会の後援を頂いている。今後も、本研究の成果をアピールし各種学会の協力を得るなどの方策が必要である。

第 6 回追跡調査実務担当者

吉田稔美 船木彰子 近藤慶子 門田文 鈴木仙太郎 佐藤敦 伊藤隆洋 渋川武志
炭昌樹 鈴木春満 岡見雪子 岩瀬弘明 藤吉奈央子 設楽智史 山内宏美 瀬川裕佳
布施恵子 志摩梓 菅原悠 川崎翠